

大網ロータリークラブ

Club Weekly Bulletin

よいことのために手を取りあおう



2025年12月3日(水)
第27巻 第17号

通巻第1138号

ホームページ
<http://www.oamirotary.com>
E-mail
rc@oamirotary.com
Instagram
<https://www.instagram.com/oamirotary?igsh=MTRzenBxZ2oyOHJwMA==>



本日の例会

点鐘 会長 吉原 久男
唱和 四つのテスト
ソング 奉仕の理想
会長挨拶 会長 吉原 久男
幹事報告 幹事 渡邊 孝太

プログラム

- 1.奨学金授与式 サジャーニ様
- 2.12月誕生祝い
長谷川正行会員、小倉光夫会員、
四宮由己会員
- 3.理事会報告
- 4.年次総会

出席報告

例会日	11月26日	11月12日
会員数	25	25
出席	15	12
欠席	3	5
M U	0	0
免除	7	7
出席率	88%	80%

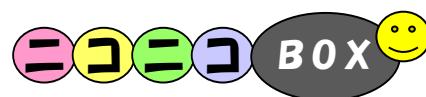
- クラブ創立：2000年1月13日
- 例会日：水曜日 (12:30~13:30)
- 例会場：中部コミュニティセンター
TEL 0475-73-3337 FAX 0475-73-4360
- 事務所：〒299-3251
大網白里市大網450-6 ユアサビル2階
TEL 0475-70-0200 FAX 0475-70-0222
- 会長：吉原 久男 幹事：渡邊 孝太
- 広報・公共イメージ
向上リーダー 星野 実

会長挨拶

吉原 久男



皆さんこんにちは。
今日は時田清次ガバナー公式訪問という事で、早目に来て構えていた所、ガバナーの乗っている電車が、人身事故の為、大幅に遅れての懇談会となりました。
内容としては、今年度の経過について説明し、それに対する問題点などを話し合いました。大網ロータリークラブとしての奉仕活動は、スリランカ食料支援、子ども食堂、レモネードスタンドによるこども病院への寄付、大網白里市の花であるコスモス運動などと説明しました。
その他には、国際大会の参加や、ロータリー財団、米山奨学会への寄付など、十分過ぎる奉仕活動をしているとの評価をいただきました。
国際大会の千葉ナイトの話もありましたが、介護の必要な方に同行する人もいるので名言を避けました。
大網ロータリークラブの問題点は、会員の減少にあります。
平均年齢が約70歳という事で2790地区では1番高いそうです。若返りを図りたい為には、若い会員が必要となります。この後行われるディスカッションで討論したいと思います。今日の会合が有意義になる事を願いまして挨拶とします。



吉原久男会長、斎藤幸男会長エレクト

時田清次ガバナー、小沢恒夫ガバナー補佐、荒井賢二ガバナー補佐幹事、武田大輔ガバナー補佐幹事、公式訪問ありがとうございます。

四之宮由己会員

ガバナーの公式訪問ありがとうございます。



斎藤幸男エレクト、坂本副幹事
今回でロータリーリーダーシップ研究会、卒業となりました。
おめでとうございます。

米山奨学生卓話



リュウイ様（千葉東ロータリークラブ）が卓話をしてくださいました。
ありがとうございました。

こども食堂

11月30日(日)

ひすいかい 子ども食堂

用意したお弁当、70食配布出来ました。ロータリーチームは餅つきを担当して頂きました。吉原会長、石田会員、高野会員ありがとうございます。今回たくさんの食材を配布出来たので、来られた方々も大変喜んでおられました。ありがとうございました。

大越会員より



・2025-06 年度 RI会長メッセージ

「よいことのために手を取りあおう」

分裂されている世界において、結束する力となるようロータリー会員に呼びかけるものです。奉仕プロジェクトを通じ、ロータリーは、様々な背景を持つ人々を繋ぎ、地域社会でよいことを行うという共通の使命のために活動します。

・友情と信頼

強いクラブは、友情と信頼によって築かれています。私たちは、友情と信頼のもとに有意義なパートナーシップを築き、世界的な問題を各地域で解決へと導きます。私達は肩書や称賛ではなく、謙虚さ、人間性、思いやりを持ってリーダーシップを発揮します。

・RI 戦略計画のビジョン

私たちは、世界で、地域社会で、そして自分自身の中で持続可能な良い変化を生むために、人々が手を取り合って行動する世界を目指しています。時に肝心なのは「自分自身の中で」という部分です。革命は一人一人の人格やお互いの」接し方から始まるからです。

・ロータリー行動計画の4つの優先事項

1.インパクトをもたらす 2.基盤を広げる 3.かかわりを促す 4.適応力を高める

・変化のリーダーとなる

立案する、構築する、実施する、持続する、評価を繰り返す事により目標を達成する事ができクラブの活性化につながり、リーダーの資質を高める事が出来ます。

・地域スローガンを考える

2000年以降IT社会が普及し社会は大きく変わっています。その中でロータリーの社会は変わっていないことがRIが革命を求める理由です。

・奉仕の理念を考える

ロータリーの目的は意義ある事業の基礎として、奉仕の理想を奨励しこれを育む事にある。

・奉仕の理念を育む

ロータリアン一人一人が職業を通し、また日常生活において、高い論理観を持って「人に思いやりを持ち、人の約に立つ事を実践する事」である。

・ロータリーを楽しもう

ポールハリスがロータリーを作った動機を聞かれ、「ただ淋しかっただけだ」と答えたのは有名な話です。ロータリーを楽しむためには、先ず、一人でも二人でも友達の輪を広げる事から始める必要があります。

・公共イメージの向上

・八犬伝プロジェクト

2790地区では25-26年度の行事として、「南総里見八犬伝」による、千葉の良さを見直すとともに、ロータリークラブが大切にする、「道徳」と「南総里見八犬伝の八徳」を理解しグローバル社会で見失いそうな「日本独自の道徳」のあり方を、この機会に考えてみたいと思います。

